

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (北広島町立八重東小学校)

- ① 教科等 特別活動 ② 学年 第5学年
- ③ 題材名 「和食のよさ、再発見！」〈学級活動(2)〉
- ④ 本時の目標 和食の特徴やおかずと組み合わせることで食べることの大切さを知り、毎日の自分の食生活に生かしていこうとする態度を養う。
- ⑤ 学習の流れ (全1時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 夕食に関するアンケートの結果を知り、自分たちの食事の様子から、本時の課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本では欧米型の食事を摂る人が増えているが、海外では和食が注目されていることを説明し、学習意欲を持たせる。 	
和食を食べることのよさは何か考えよう。		
2 和食のよさについて予想して発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・和食のよさの秘密を探る課題を設定し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができるようにさせる。 	
3 グラフや図を見て現代の食生活の様子について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・米の生産量や消費量、食事の変化、疾病の推移などのグラフから、日本人の食生活が欧米化することが死亡率の増加の一因となっていることに気付かせる。 	
4 洋食と和食を比較し、和食を食べることのよい点を見つけ、考えをワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・比較する際には、まず、共通点と相違点に着目させ、相違点からそれぞれの食事の良さに気付かせる。 ・和食のよさをまとめる際の観点を例示し、児童の思考を整理しやすくする。 ・ワークシートにまとめた自分の考えを、ペアで交流し、その後、全体交流で考えを深めさせる。ペアトークでは、相手に自分の考えが伝わるように、話型を示す。 	
【話型】 和食(洋食)のよい点(よくない点)は～です。 理由は～からです。		
5 栄養教諭から和食のよい点についての説明を聞く。 6 自分の食生活を振り返り、個人目標を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体交流で出された意見を板書に整理し、和食のよさをまとめさせる。 ・自分の食生活を振り返り、どのような食生活を送っていきたくいかについて個人目標を考えさせる。 	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- いくつかの観点をもとに、和食と洋食を比較し整理することで、和食と洋食のよさについて、根拠を明確にしながらかん考を整理することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 和食のよさを整理して考えさせるために、和食と洋食の共通点と相違点の2つの視点で思考を整理し、ワークシートにまとめさせる。
- 自分の考えを振り返ったり、友だちの考えから多様な考えに気付いたりするために、全体交流の前にペアトークを行う。